



Contents!

- ・公共施設マネジメントの取組の当面の進め方の公表（令和7年12月） ...1
- ・公共施設マネジメントの取組に関する市民説明会の開催（令和8年1月） ...2～3
- ・中央エリアの整備（中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館の複合化など）に関するオープンハウス・パネル展示の開催（令和8年1・2月） ...4

News!

公共施設マネジメントの取組の当面の進め方

市では、将来的な人口減少・少子高齢化と財政バランスの悪化、施設の老朽化と更新時期の集中という課題に対応するため、「公共施設マネジメント推進計画」を策定し、既存施設を更新する際は、原則として複合化することで延べ床面積を縮減し、持続可能な公共施設サービスの提供を目指しています。

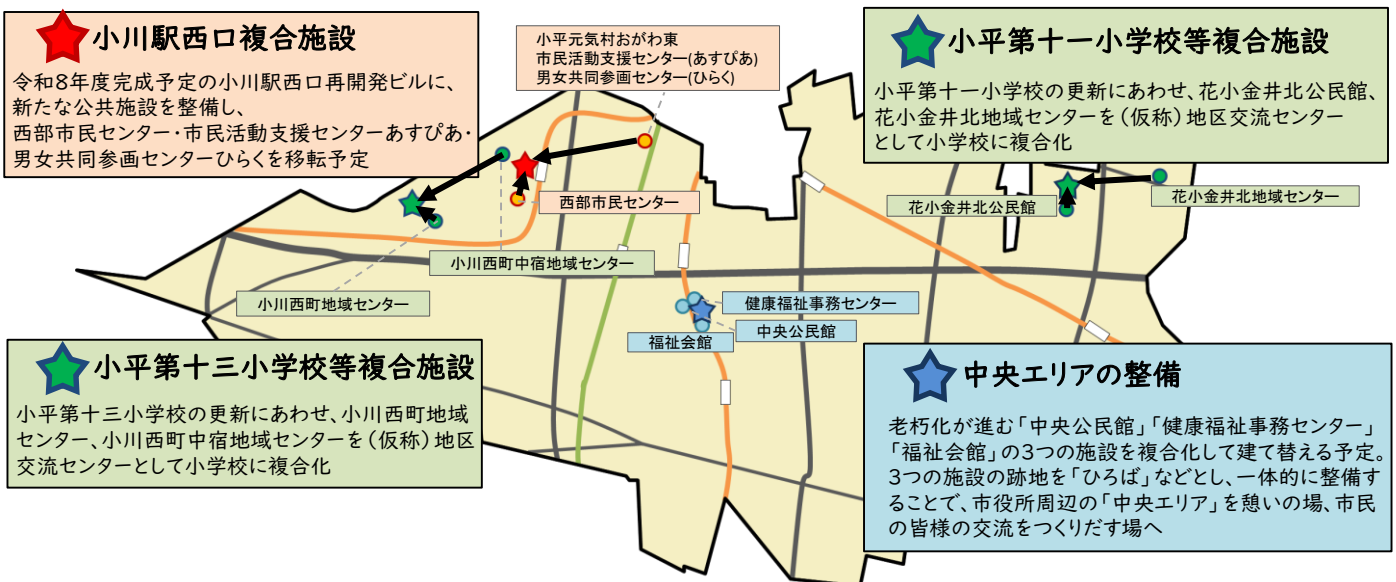
公共施設を取り巻く課題



公共施設マネジメント推進計画

既存施設を更新する際は、原則として複合化することで延べ床面積を縮減し、持続可能な公共施設サービスの提供を目指しています。

これまで、公共施設マネジメントの取組として、中央エリアの整備、小川駅西口複合施設、小平第十一小学校、小平第十三小学校等の更新・複合化の取組を進めてきました。



現在、「コストの急激な増加」「施設更新時期の短期的な集中」「厳しい財政状況」という課題が生じているため、対応策として次の見直しを行い、詳細について市民説明会を開催しました（2ページへ）。

当面の対応策

- ・中央エリアの整備事業の一部計画変更（別棟の建設中止）
- ・小平第十三小学校等複合施設整備の実施時期の延期



詳しくは、市公式HPへ

Event!

市民説明会の開催

市長も出席して、4回（内1回は、オンラインとのハイブリッド）開催し、合計91人の参加をいただきました。



日時	場所など	参加人数(人)
1月17日(土)10時から11時30分	東部市民センター(集会室)	17
1月18日(日)10時から11時30分	小川西町公民館(ホール)	36
1月21日(水)18時30分から20時	対面(中央公民館 視聴覚室)	19
	WEB	6
	合計	25
1月23日(金)18時30分から20時	小平第十三小学校(集会室)	13
合計(延べ数)		91

参加者のうち66人の方からアンケートの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。
アンケートに寄せられた、主なご意見も含めて以下にお知らせします。

【みんなの疑問点】説明会の質疑とアンケートより

公共施設マネジメントの進め方

市民の意見をよく聴いて事業を進めてほしい。

▼中央エリアの整備や学校更新事業は、計画や設計の段階ごとに、説明会やワークショップ、ヒアリング、アンケート、オープンハウス、出前授業などを行い、市民・児童の皆様のご意見をお聴きしながら進めてきました。

▼今後も事業の進捗に応じて、市民参加や情報提供を行いながら、丁寧に進めていきます。

見直しを行うタイミングが遅かったのではないかと。

▼令和6年度に中央エリア整備の設計が完了し、令和7年度に設計内容を基に事業費の精査を行ったところ、引き続き物価高騰の影響等により事業費の大きな増加が見込まれることが明らかになりました。

▼令和8年度の予算編成に向けて検討を行っていく時期にあたり、学校更新事業も含めて「コストの急激な増加」「施設更新時期の集中」「直近の財政状況の厳しさ」が深刻度を増していることを考えあわせ、このタイミングでの判断に至ったものです。

公共施設の縮減だけでなく、既存施設の長寿命化を目指すべきでは？

▼更なる財政負担の分散化・平準化が必要なため、市としても長寿命化は有効な考え方と認識しています。

▼将来的な人口減少を見据え、施設更新や建替えのタイミングで計画的に複合化を進め、段階的に床面積を縮減する大きな枠組は維持しながら、長寿命化とのバランスを考慮し進める必要があります。

▼令和8年度の公共施設マネジメント推進計画の改定の際には、施設更新の優先順位や長寿命化の考え方について一定の整理をしたいと考えています。

公共施設における財源確保の取組とは？

▼公共施設の維持管理、更新等を行うために必要な費用を、市が使用しない跡地・跡施設等の売却等により捻出する必要があります。

▼公有財産の貸付（例 中央公民館跡地の貸付を検討中）や、跡地・跡施設等の積極的な売却を進めます。

中央エリアの整備

中央エリアの整備の事業費見込が、当初の44億円から123億円に増えたが、市の財政に深刻な影響を与える可能性があると考え。使える施設は使い続け、優先順位をつけて段階的に更新することで、市の財政を守りつつ市民への負担を軽減すべき。

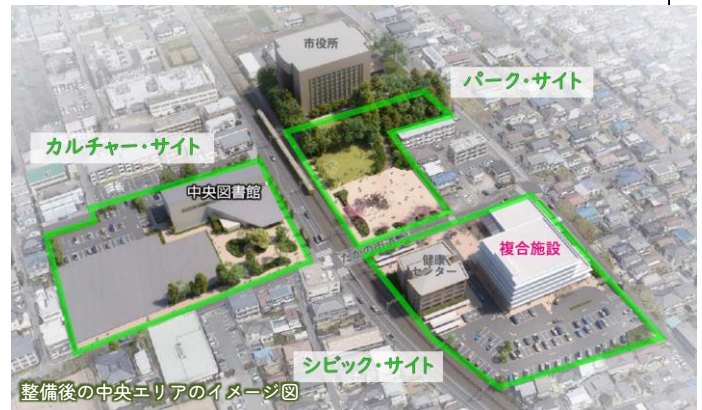
▼前提として、令和元年度の44億円、令和6年度の104億円、令和8年度の123億円は、それぞれ算出方法や整備範囲等が異なるため、単純な比較ができる数値ではありません。

▼事業費に差が生じた要因として、当初の44億円はシビック・サイトのみの事業費ですが、その後、中央エリア全体を一体的に設計することとしたため、パーク・サイト、カルチャー・サイトの既存施設の解体やひろば整備を追加したこと、また、令和元年度から令和8年度までの物価高騰のほか、防災機能や環境配慮への対応などが挙げられます。

▼老朽化した施設は順次建替えが必要であり、建替えの際に複合化することで、施設の利用に大きな影響を与えないよう配慮しながら、効率的な広さで新設することにより、将来世代を含めた市民の皆様の負担を抑える取組です。

中央エリアの整備後の部屋数が少なくなると、部屋の予約が取りづらくなるのでは？

▼例えば開館日数を増やすことで予約枠を増やすなど、運用上の工夫により、なるべく利用に影響が出ないように、今後検討していきます。



整備後の中央エリアのイメージ図



事業費について、詳しくは4ページへ

別棟の建設が中止となったが、今から、複合施設にカフェを設けられないか。

▼令和6年度に設計が完了しており、設計変更となると、新たな業務委託が必要になることや、その間、事業を止める必要が生じることなどから、今から複合施設内に新たにカフェを設けるのは困難です。

▼代替機能として、市民意見にもあったキッチンカーの誘致やフリースペースでは飲食可することなどを検討していきます。

学校更新事業

小平第十三小学校等複合施設の整備事業を再開する際は、これまでの設計は無駄になるのか？

▼令和5年度に策定した基本計画、その後の基本設計（施設の配置まで）をできる限り活かす想定であり、無駄にはなりません。

▼学校教育部分については、これまでの検討結果を基本とし、再開時点での学習指導要領等の更新を踏まえ、そのときに合った学習機能を確保するために見直しを図る予定です。

小学校の複合化では、セキュリティが心配。

▼将来世代も含めた市民の皆様の負担を抑えるため、また小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図るため、複合化は必要な取組ですが、セキュリティには十分配慮して設計を進めています。

▼具体的には、学校と（仮称）地区交流センターは、出入口やエリアを分けつつ、共通使用できる部屋（地域交流室）を介して行き来を可能とする設計としており、学校に入る際のチェック体制等について、利用しやすさとのバランスを考慮しながら検討を進めます。

小平第十三小学校の更新の時期はいつ頃になるのか？

▼小平第十一小学校等複合施設の工事完了時期が現時点では令和14年度の想定であるので、その時期の財政状況を見極めて判断します。

地域センター・公民館

小学校を地域コミュニティの拠点とすることは良いと思うが、身近に活動できる地域センターや公民館も必要と考える。既存施設の有効活用についても検討してほしい。

▼将来的な人口減少を見据えると、現在ある公共施設を全て維持することはできません。

▼現在使用している施設の機能をなるべく損なわずバランスよく再配置するために、市民の皆様にとって身近でなじみのある小学校を地域コミュニティの核とすることとしました。

▼そこでの活動内容や仕掛けづくりも大切と考えるため、運用面でも工夫をしたいと考えています。

Event!

中央エリアの整備に関するオープンハウス・パネル展示の開催

中央エリアの整備（中央公民館・健康福祉事務センター・福社会館の複合化など）について、実施設計の概要や計画の一部見直し後の内容、最新の事業費等の見込、今後のスケジュールなどをお知らせしました。オープンハウスでは、職員が資料について説明をしながら、展示をご覧いただきました。

【オープンハウス】

▼開催日等

- ・1月30日（金）14時から21時
 - ・1月31日（土）9時から16時
- 場所：中央公民館 ホール
来場者数：86人

【パネル展示】

2月3日（火）から2月20日（金）まで、市役所1階ロビーで、オープンハウスと同じ資料を展示しました。



詳しくは、市公式HPへ

